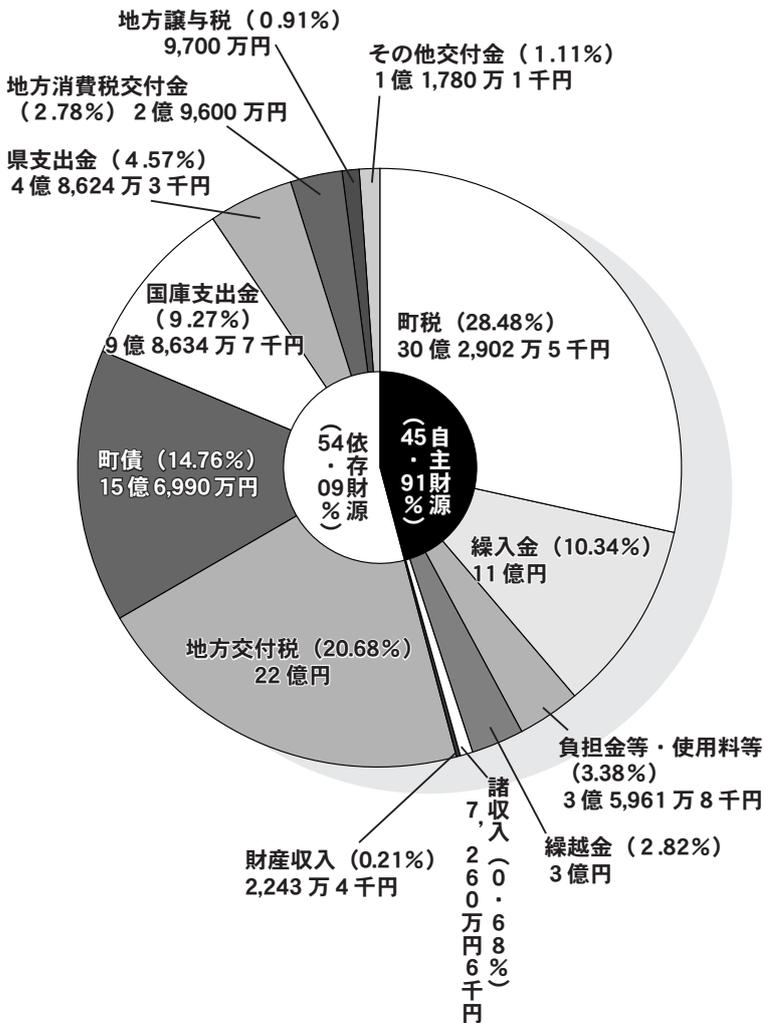


特別会計当初予算

一般会計歳入 106億3,697万円4千円 が決まりました。



わたしたちの住みよい町づくりの根幹となる平成21年度一般会計、特別会計および水道事業会計の当初予算が、3月町議会定例会において可決されました。

総予算額は、194億5,696万6千円で、前年に比べ、8億7,410万6千円(4.70%)の増加となりました。

その概要は、一般会計が106億3,697万4千円で、昨年と比べると5億3,596万4千円(5.31%)の増額となりました。増加の主な要因は、益城中央小学校移転改築工事や地域活力基盤創造交付金の道路改良事業および後期高齢者医療費などが挙げられます。一方、特別会計の総額は、84億2,287万円となり、前年比で3億4,854万3千円(4.32%)の増加となりました。また、水道事業会計は、3億9,712万2千円で、前年比1,310万1千円(3.19%)の減となりました。

いずれも町の発展と住民福祉サービスの向上を最優先とした方針の下、より一層の行財政の改革に努め、歳入、歳出の両面にわたる徹底した見直しをしたものです。

歳入

歳入では、地方交付税が5千万円の増、町債が3億6,830万円の増となっております。地方交付税は、生活防衛のための緊急対策に基づくもので、また町債は、益城中央小学校移転改築および臨時財政対策によるものです。

自主財源は45.91%で、主なものは、町税は30億2,902万5千円、緑入金が11億円、繰越金が3億円となっております。

一方、依存税源は54.09%を占め、主なものは、地方交付税が22億円、町債が15億6,990万円、国・県支出金の合計が14億7,259万円、地方譲与税および地方消費税交付金が3億9,300万円となっております。歳入については、過大見積りは厳に慎み、的確な試算のもと正確な額を見込んでいます。

歳出

歳出では、教育費が26億3,518万円。文教の里推進費の皆減で、前年度より1億6,601万6千円の減となっておりますが、予算の24.77%を占めております。次に、民生費が25億2,623千円で予算の23.53%を占め、後期高齢者医療費、妊婦検診回数増加に伴う検診委託料等により3,994万2千円の増加をしています。また、土木費が18億8,441万1千円で予算の17.72%を占め、地域再生道路および地域活力基盤創造交付金による道路改良事業等により3億8,288万円増加しています。

いずれも教育事業や福祉の向上を最重要課題として、住民生活とサービスの充実を目指した内容です。